



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場会社名 トーカロ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3433 URL <https://www.tocalo.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 三船 法行  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 後藤 浩志 (TEL) 078-303-3433  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	36,424	13.0	8,224	8.8	8,678	12.1	5,669	13.5
2022年3月期第3四半期	32,227	10.1	7,555	15.8	7,738	19.4	4,997	19.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 7,044百万円(18.2%) 2022年3月期第3四半期 5,957百万円(33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	93.20	—
2022年3月期第3四半期	82.18	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	73,570	56,474	71.5
2022年3月期	69,517	52,459	70.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 52,578百万円 2022年3月期 49,099百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2023年3月期	—	22.50	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,200	10.0	11,200	9.2	11,400	7.8	7,444	7.7	122.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	63,200,000株	2022年3月期	63,200,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,352,845株	2022年3月期	2,381,222株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	60,832,709株	2022年3月期3Q	60,806,492株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載することとしております。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
3. その他 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで、以下「当第3四半期」という)の当社グループを取り巻く事業環境は、急激な為替の変動、エネルギーコストや原材料価格の高騰、半導体をはじめとする部材需給の逼迫に加え、米中関係の緊張の高まり、ウクライナ情勢の長期化など、先行き不透明な状況が継続しており、コスト面では厳しさが増しているものの、半導体・FPD(フラットパネルディスプレイ)分野を中心に、好調な受注状況が継続いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、コロナウイルス感染対策を徹底し工場の操業を継続することに最大限注力しつつ、持続的成長に向けて、中長期を見据えた新技術開発と一層のコスト削減、生産効率の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期における当社グループの連結売上高は前年同期比41億96百万円(13.0%)増の364億24百万円となりました。また、利益につきましては、労務費や電力費等の上昇の影響がありましたが、コスト削減に努めるとともに、受注価格の見直しも進め、営業利益は同6億68百万円(8.8%)増の82億24百万円、さらに、円安による為替差益の発生もあり、経常利益は同9億39百万円(12.1%)増の86億78百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同6億72百万円(13.5%)増の56億69百万円となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [溶射加工(単体)]

前年同期比18.9%の増収となった半導体・FPD分野をはじめ、産業機械、鉄鋼、その他の分野すべてにおいて増収基調で推移し、当セグメントの売上高は前年同期比32億93百万円(13.5%)増の276億15百万円、セグメント利益(経常利益)は同6億58百万円(11.0%)増の66億23百万円となりました。

#### [国内子会社]

国内子会社(日本コーティングセンター株式会社)は、半導体不足を背景とした国内自動車生産の停滞の影響が続いており、主力の切削工具関係の受注が回復せず、当セグメントの売上高は前年同期比8百万円(0.5%)増の18億20百万円、セグメント利益(経常利益)は同75百万円(21.4%)減の2億76百万円となりました。

#### [海外子会社]

半導体・FPD関連や鉄鋼関連の受注が概ね好調であったことに加え、円安の為替影響もあり、当セグメントの売上高は前年同期比6億26百万円(15.0%)増の48億14百万円、セグメント利益(経常利益)は同1億01百万円(8.9%)増の12億35百万円となりました。

#### [その他表面処理加工]

溶射加工(単体)、国内子会社、海外子会社以外のセグメントについては、総じて受注が堅調に推移し、売上高の合計は前年同期比2億59百万円(14.4%)増の20億60百万円、セグメント利益(経常利益)の合計は同27百万円(8.4%)増の3億59百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は735億70百万円となり、前連結会計年度末比40億52百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、有価証券、原材料及び貯蔵品などの増加により流動資産が40億28百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末における負債は170億96百万円と前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。これは主に、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であった影響による電子記録債務の増加などにより流動負債が10億69百万円増加した一方で、長期借入金の返済などにより固定負債が10億30百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は564億74百万円となり、前連結会計年度末比40億14百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加27億80百万円、非支配株主持分の増加5億35百万円、為替換算調整勘定の増加6億48百万円によるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は71.5% (前連結会計年度末比0.9ポイントの上昇)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想につきましては、2022年7月29日発表の連結業績予想に変更はありません。今後の情報収集等により、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,110	17,904
受取手形及び売掛金	12,176	13,162
有価証券	3,000	4,000
仕掛品	1,474	1,763
原材料及び貯蔵品	2,057	2,854
その他	550	736
貸倒引当金	△4	△29
流動資産合計	36,365	40,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,866	14,379
機械装置及び運搬具（純額）	3,815	3,637
土地	10,189	10,379
その他（純額）	1,870	2,632
有形固定資産合計	30,740	31,028
無形固定資産	231	229
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,180	1,920
貸倒引当金	-	△0
投資その他の資産合計	2,180	1,920
固定資産合計	33,152	33,177
資産合計	69,517	73,570

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,397	1,584
電子記録債務	4,721	6,254
1年内返済予定の長期借入金	1,447	1,447
未払法人税等	1,816	941
賞与引当金	1,366	811
その他	2,586	3,364
流動負債合計	13,334	14,403
固定負債		
長期借入金	2,802	1,717
退職給付に係る負債	853	903
その他	66	72
固定負債合計	3,723	2,692
負債合計	17,058	17,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,317	2,345
利益剰余金	44,166	46,946
自己株式	△766	△757
株主資本合計	48,377	51,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6	△5
為替換算調整勘定	798	1,447
退職給付に係る調整累計額	△69	△57
その他の包括利益累計額合計	722	1,385
非支配株主持分	3,360	3,895
純資産合計	52,459	56,474
負債純資産合計	69,517	73,570

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	32,227	36,424
売上原価	19,889	23,122
売上総利益	12,338	13,302
販売費及び一般管理費	4,783	5,078
営業利益	7,555	8,224
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	17
為替差益	119	403
その他	71	58
営業外収益合計	201	478
営業外費用		
支払利息	6	4
支払手数料	6	5
支払補償費	5	13
その他	1	0
営業外費用合計	18	24
経常利益	7,738	8,678
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	120	17
ゴルフ会員権評価損	0	-
特別損失合計	121	17
税金等調整前四半期純利益	7,618	8,660
法人税等	2,298	2,630
四半期純利益	5,320	6,030
非支配株主に帰属する四半期純利益	323	361
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,997	5,669



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,320	6,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1
為替換算調整勘定	632	999
退職給付に係る調整額	5	12
その他の包括利益合計	637	1,013
四半期包括利益	5,957	7,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,379	6,332
非支配株主に係る四半期包括利益	577	712

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

## 3. その他

## 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同四半期比	
	生産高(百万円)	生産高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	14,979	17,810	2,831	+18.9
産業機械用部品への加工	2,758	2,950	191	+6.9
鉄鋼用設備部品への加工	2,547	2,606	59	+2.3
その他の溶射加工	4,036	4,247	211	+5.2
溶射加工(単体) 計	24,322	27,615	3,293	+13.5
その他表面処理加工	1,801	2,060	259	+14.4
国内子会社	1,812	1,820	8	+0.5
海外子会社	4,187	4,814	626	+15.0
合 計	32,123	36,311	4,188	+13.0

(注) 上記の金額は、販売価格によっております。

## ② 受注状況

(受注高)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同四半期比	
	受注高(百万円)	受注高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	15,923	18,106	2,182	+13.7
産業機械用部品への加工	2,807	2,986	178	+6.4
鉄鋼用設備部品への加工	2,600	3,136	535	+20.6
その他の溶射加工	4,064	4,213	149	+3.7
溶射加工(単体) 計	25,396	28,443	3,046	+12.0
その他表面処理加工	1,964	2,045	81	+4.1
国内子会社	1,800	1,822	21	+1.2
海外子会社	4,480	5,638	1,158	+25.8
合 計	33,642	37,949	4,307	+12.8

(注) 上記の金額は、販売価格によっております。

(受注残高)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (2021年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2022年12月31日)	前年同四半期比	
	受注残高(百万円)	受注残高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	4,197	4,766	568	+13.5
産業機械用部品への加工	363	386	23	+6.5
鉄鋼用設備部品への加工	744	1,125	381	+51.2
その他の溶射加工	605	553	△51	△8.6
溶射加工(単体) 計	5,910	6,832	921	+15.6
その他表面処理加工	368	370	2	+0.7
国内子会社	48	48	△0	△0.7
海外子会社	1,334	2,283	948	+71.0
合 計	7,662	9,534	1,871	+24.4

(注) 上記の金額は、販売価格によっております。

③ 販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同四半期比	
	販売高(百万円)	販売高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	14,979	17,810	2,831	+18.9
産業機械用部品への加工	2,758	2,950	191	+6.9
鉄鋼用設備部品への加工	2,547	2,606	59	+2.3
その他の溶射加工	4,036	4,247	211	+5.2
溶射加工(単体) 計	24,322	27,615	3,293	+13.5
その他表面処理加工	1,801	2,060	259	+14.4
国内子会社	1,812	1,820	8	+0.5
海外子会社	4,187	4,814	626	+15.0
受取ロイヤリティー等	104	113	8	+8.4
合 計	32,227	36,424	4,196	+13.0

以 上